

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1493 回 (1)

会 長 笹 田 博 之 幹 事 内 山 春 夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日 時	2022 年 7 月 5 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

本年度の会長としての初の会長卓話ということでいささか緊張していますが、私としてはこの一年間会長卓話につきましては毎週と言うことで大変ではありますが、まずはロータリーのことに付いて、また時々の話題も織り交ぜながら変化にとんだ会長卓話を目指したいと思っております。

さて今回会長就任にあたり改めてロータリー活動の土台、基幹を形成していますロータリーの五大奉仕について自分自身が今後のクラブ運営活動にむけての認識を自覚する意味において再度調べてみました。

《ロータリーの五大奉仕》

(クラブ奉仕) クラブ奉仕は親睦活動とクラブの機能を充実させることを主眼としている。末永い友情を築くと共に、クラブの効果的運営を促進する。

(職業奉仕) すべてのロータリアンが各自職場での代表でありロータリーの理想の模範を示しその理想を分かち合うように努めることを目的とします。奉仕活動を通じてその職業上の高い倫理基準をたもち自分の職業を高潔なものにする。

(社会奉仕) 社会奉仕は地域社会の人々の生活の質を向上させる為にクラブが行うプロジェクト活動である。地域の中でその社会が欲しているものを探しだしそのニーズに対して適切な奉仕活動を行います。社会奉仕を通じて地元、地域のニーズに取り組み長期的な改善をもたらすために地域の人々と共に活動する。

(国際奉仕) 国際奉仕は世界中におけるロータリーの人為的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。ロータリーが世界平和と各国関の為に力となっている分野です。国際奉仕を通じて世界的人道的ニーズに取り組み世界理解と親善、平和を推進する。

(青少年奉仕) 指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて青少年と若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものです。具体的には社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて青少年ならびに若者たちに好ましい変化がもたらされることを認識し推進するものです。青少年奉仕を通じ活動を支援し次世代リーダー、時代の先駆者、平和構築者を育成する。

さて今月 19 日のプログラムはクラブフォーラム(五大奉仕)です。先ほど述べましたようにロータリー五大奉仕の本質、理解を皆でよりいっそう深めつつ今日より一年間本年度クラブ奉仕活動を各委員会、クラブ会員の皆さまとともに力強く推進してまいりたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。以上で会長報告を終わらせていただきます。

【プログラム情報】

《会長・幹事 所信表明》



【2022-23 年度 会長・・・笹田 博之】

2022-23 年度、福山西ロータリークラブ会長を務めます笹田です。

本日は本年度会長としての所信表明をさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

さて前年度におきましては一年間会長エレクトとしてひな壇より能登会長、河村幹事の傍らでクラブ運営についていろいろと勉強、参考にさせていただきました。一昨年から2年以上にわたりコロナ感染の拡大による度重なる緊急事態宣言の影響により通常例会をはじめとして各委員会で計画されていた行事を予定通り実行してゆくこと

が難しい状況にあったにも関わらず現状の中でできる限りの活動は実行されたと思っております。また前年度におきましてはクラブ例会が休会の期間にあってクラブ初の取り組みとしてZOOMによる理事会が実施されましたことは特筆すべきことだったと思います。

さて2022-23年度のRI会長は皆様ご存じのように115年に及び国際ロータリークラブの長い歴史の中において初の女性RI会長が誕生いたしました。調べて見ますと1989年まではロータリー会員身分は男性に限るの定款と細則に記されていましたが1989年度規定審議会に変更が加えられ女性会員のロータリークラブへの入会が認められるようになりました。それ以来、世界中のクラブや地区で女性が会員となりリーダーとして活躍しています。本年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏はカナダ出身で会長テーマは(イマジンロータリー)でサブタイトルは(想像してください。私たちがベストをつくせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせるとしています。) 私自身の(イマジンロータリー)の解釈としては予測不可能で刻々と変化する現代社会にあって最良の結果を導く為のプロセスはただ漠然と行動するのではなく直感力を磨きあげて確実な成果を導くためのイメージを脹らませて行動、活動の指標とするべきであると理解しています。そういった意味において本年度西クラブ会長テーマを(想像力を高めて変化に対応、社会に貢献)とさせていただきました。

本年度におけるクラブ活動の基軸はRI会長と地区運営方針、及び地区委員会方針がリンクしていなければなりません。地区運営方針のガバナー信条につきましては以下の通りです。

- (1) 健康寿命を延伸することにより5大奉仕と7つの重点分野をついこうするための財団支援を行う。
- (2) 会員増強と退会防止に努める。
- (3) クラブのDEIに取り組む

今年度における当クラブにおけるロータリー活動の各委員会の行事におきましてはそれらの方向性をもとに各委員会委員長より事前会員要望事項にそって活動計画書に落とし込み計画を立て

て頂いております。各委員会において計画された行事につきましては各委員会委員長を中心としてメンバー会員で力をあわせてその実行をお願いいたします。また行事内容におきまして各委員会に関して連携して活動しなければならない場合もありますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

今年度の重点目標につきましては

- * 会員数純増 2 名以上、女性会員 1 名以上
- * クラブ会員全員協力による会員増強活動
- * 知的障がい者支援活動の計画実施
- * クラブ各委員会のさらなる連携強化
- * ゲスト卓話の人選、卓話内容の一層の充実
- * クラブ DX の強化、推進
- * クラブ公共イメージの向上

その重点分野、目標として単年度の活動としてではなく前年度に引き継ぐかたちで本年度も知的障がい者支援活動を強化し、さらなる具体的支援活動を推進し実ある奉仕活動につなげてまいりたいと思います。とくに計画、実行の中心となる青少年奉仕委員会、社会奉仕委員会のよりいっそうの連携強化をお願いするとともにクラブ会員全員の協力もお願いいたします。会員増強につきましては各会員皆さまの周りでまずクラブを知ってもらう為に例会にオープン参加して下さる可能性のあるかたロータリーに少しでも興味をもたれているかたの情報提供をお願いいたします。

またクラブの公共イメージの向上につきましてはクラブホームページのさらなる充実、クラブ行事内容のマスメディアの露出強化にも努めてまいりたいと思います。

いずれにしてもまだコロナ感染が終息しているわけではありませんが通常のリアルの例会が行われ重点目標の達成とともに各奉仕活動が計画どおり無事実施できますことを願っております。

最後になりますが、新年度がスタートするにあたり新会長としてこの一年間のクラブ運営、奉仕活動に対する期待とともに一抹の不安も感じているわけですがいずれにしても理事、役員、会員の皆さま、事務局の協力のもと内山幹事とともにクラブ活動運営を真摯に務めてまいる所存です。なにとぞクラブ会員の皆さま方におかれましてはこの一年間宜しくお願い致します。

以上で本年度会長所信表明を終えさせていただきます。ありがとうございました。



【2022-23 年度 幹事・・・内山 春夫】

本年度幹事を務めさせていただきます、内山と申します。

まずは、活動計画書の作成に当たってご協力いただきました理事、委員長、事務局の三ヶ島さんありがとうございました。本日皆様のお手元に届けることが出来ました。

私は前年度は副幹事で河村幹事の隣で 1 年間勉強させていただきました。河村さんは例会や理事会を段取り良く運営されていたので、同じように出来るか不安はありますが、笹田会長は幹事も経験されていますので、相談しな

がら会の運営に携わってまいります。

今年度、笹田会長は7つの重点目標を掲げられています。

1番と2番は会員増強です。

- ① 会員数を2名以上純増、女性会員1名以上増員
- ② 会員全員で会員増強しましょう
- ③ 昨年度からスタートした知的障がい者の支援活動
- ④ 各委員会との連携強化する
- ⑤ ゲスト卓話の人選と卓話内容の充実
- ⑥ DXの推進です、DXはデジタル技術で社会や生活の形を変えるということです。前年度河村幹事がズーム例会を開催されました。これに該当します。
- ⑦ クラブのイメージの向上です。マスコミをもっと利用しましょう。

これら7つの目標を推進していくためにはクラブ会員全員のご協力が必要になって来ます。幹事としてご協力いただくには何をしなければならないか考えた結果3つの目標を立てました。

- ① 例会、理事会は1時間前に来て本日の段取りを確認します。
- ② 会の行事はすべて出席します。
- ③ メールは午前午後2回確認をして、事務局との連絡を密にします。

この3点を本年度の幹事の務めとして1年間頑張りますのでよろしくお願いいたします。

【その他報告】

《「ロータリーの友誌」紹介》

【ロータリー情報委員長・・・梶原 啓子】

「ロータリーの友誌」2022年7月号

- 横目次5P 「ロータリーの友」誌のアーカイブスが開設
- 横目次7P RI 会長メッセージ デジタル技術を活用してロータリーのストーリーを発信しよう
- 横目次8P～ ジェファニー・ジョーンズ RI 会長の生い立ち、医師のご主人との出会い、RC 入会とその後の活動、信条が書かれています。42歳の時乳がんと診断され、化学療法と放射線治療に明け暮れたこともあったそうです。
- 横目次26P 第2800地区佐藤孝子ガバナー紹介
- 横目次35P 第2700地区西島英利ガバナー紹介
- 横目次36P 第2710地区石川良興ガバナー紹介
- 横目次41P ウクライナへの災害救援基金 1500万ドル日本からは334万ドル
- 横目次47P ウガンダへの水支援、コロンビアへの「社会的及び心理教育的介入プロジェクト」
- 横目次58P 祖国で人々を助けるウクライナの RC
- 縦目次9P 青森 RC の石川佳共子さん。入会時「女人禁制」なんだといわれたところから現在は女性会員6名に。会員増強の極意も書かれています。
- 縦目次13P フレイルは防げる。最近体力、知力が落ちたなと思う方必読です。
- 縦目次17P 千玄室大宗匠の特別講演での戦争体験
- 縦目次25P 福山南 RC の「水ロケットの製作と打ち上げ大会」

ロータリーアットワークはウクライナ関係の記事が5件ありました。

《各種表彰等》

【前年度会長・幹事記念品贈呈】



前年度会長 能登 伸一 さん

前年度幹事 河村 直孝 さん

【皆出席】



連続7年 河村 直孝 さん

通算22年 北 治郎 さん

【誕生日】



《7月5日生まれ》大植 栄 さん

